

追悼文

10月6日に、YWAMの創始者であるローレン・カニンガムは、88歳で主イエスのもとに旅立ちました。

ローレンは、キリストの大宣教命令のために、地球上のすべての主権国家および従属国、特別行政区や100を超える領土や島々を訪問した、史上初めての人物です（マルコ16:15）。彼は、その使い古されたパスポートに、「天国」という最後のスタンプを加えたのです。

ローレンは1960年代の宣教パラダイムを打ち壊した「ミッションの変革者」と呼ばれています。それは、若者が短期間、世界中で教派を超えて無報酬で奉仕する、という機会をつくることによってもなりました。これにより、何百万という人々が、世界中の国々から同じく世界中の国々に向けて宣教師として送られ、神の真理を宣べ伝え、その愛をあらわす先駆けとなりました。



こうして1960年に創設されたYouth With A Mission（以下YWAM）は、常に拡大している世界規模の宣教運動として、伝道・訓練・人道支援を通して地球上のすべての国に及んでいます（YWAM.org）。現在、200カ国以上から何万人というスタッフが、フルタイムであらゆる教派や伝統を超えて、20カ国近くに位置する2000以上の活動拠点で奉仕しています。YWAMが運営するプログラムに、何百万という人々が学生、短期ボランティア、そしてフルタイムスタッフとして参加してきました。

多くの人々が、YWAMを世界最大の宣教運動の一つとして挙げています。しかしローレンは、そのことを耳にするたびに、「どんなに規模が大きくても、全世界に福音を宣べ伝えなさいという主イエスの最後の命令はまだ果たされていないのだから、もっと大きい必要がある」と言ってイエスの栄光に注意を向けるのでした。彼はキリストの体である教会の中での橋

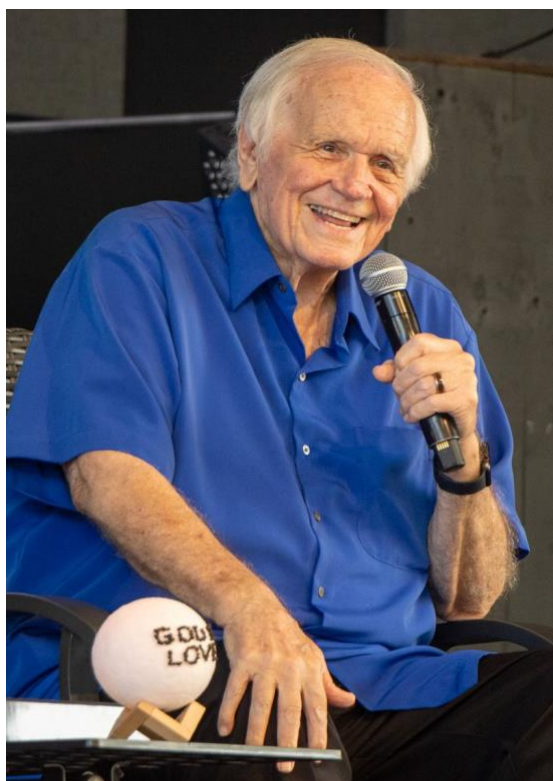
渡し役としての召しもあり、他の宣教団体や教会が一つとなって働くことをいち早く応援することでも知られていました。

謙遜で信仰深く、豊かなユーモアのセンスを持ち合わせたローレンは、誰からも慕われ、YWAMがトップダウンの組織構造を持つのではなく、広域にかつ分散するように開拓し促しました。彼は「先生」や「牧師」と呼ばれるたびに、「ローレンと呼んでください」とすぐに返答するのです。



波のビジョン

ローレンは1948年に、屋外で開催されていたリバイバル集会でひざまずき祈っている時に大宣教命令への召命を受けました。彼はその時13歳でした。神はマルコ16章15節を通して彼に語られたのです「全世界に行って、すべての造られたものに福音を宣べ伝えなさい。」



この召命は、1956年にバハマ諸島で奉仕の準備をしている時にローレンにあらわれたビジョンによって確かなものとされました (YWAMValues.com)。彼はある宣教師の家に滞在していて、その夜に語るメッセージの準備のためにベッドの脇でひざまずいて祈っていました。「突然、私は世界地図を見ていた。その地図だけが生々と動いているのだ。・・・世界の大陸が見えた。波が大陸の海岸に怒涛のごとく押し寄せていた。次々と打ち寄せては引いていく。さらに波は陸地の奥まで打ち寄せ、しまいには大陸をすっかり覆ってしまった。・・・波が青年たちの姿に、しかも私と同じ位の、いやもっと若い人たちの姿に変わり大陸を覆った。

彼らは街角や酒場の外で人々に話し掛けていた。家々を訪ねて福音を宣べ伝えている。いたる所で人々を思いやり、面倒をみていた。・・・それからこの場面は消えてしまった。」 (

ローレン・カニンガム著「神様、私に語ってくださいー神の御声に聞き従ったある若者の物語」より抜粋)

ローレンの指揮のもと、様々なグローバルな取り組みが始められました。キングス・キッズ・インターナショナル、ユニバーシティ・オブ・ザ・ネイションズ、YWAM船の働き(現在、28隻が世界中の離島や孤立した沿岸地域で活動しています)のほか、多くのリーダーたちが彼によりインスピレーションを受けて様々な働きが誕生しました。

クリスチャン・マグナカルタ

1981年にローレンによって執筆されたクリスチャン・マグナカルタは、福音書を通して暗示されている、彼の個人的な志だけでなく共同体としてのYWAMの目標を含んでいます：

地球上のすべての人は以下の権利を有する：

1. イエス・キリストの福音を聞き、理解すること
2. 自分の母語で書かれた聖書を持つことができること
3. 近くにクリスチャンの交わりが存在し、キリストの体の中で定期的に聖書の教えと礼拝を持つことができること
4. 子どもにキリスト教に基づいた教育を受けさせられること
5. 生命維持の基本的必要が満たされていること(衣食住と医療)
6. 霊的、精神的、社会的、感情的、身体的に充実した実りある生活を送ること

全ての社会領域に影響をもたらす

ローレンは妻ダーリーンとハワード・マルムスタッド博士と共に、ユニバーシティ・オブ・ザ・ネイションズ(以下UofN)を創立しました。これは、社会に影響をもたらす「7つの領域」に着目して始められたYWAMの世界的な活動です(www.uofn.edu)。1975年に神様は、ローレンとビル・ブライト博士(キャンパス・クルセード・フォー・クライストの創立者)の二人に、こういった社会の領域について同時に語られました。UofNは1978年に創立され、以来大きく発展し、今では160カ国以上にわたって存在する800以上の拠点やキャンパスにおいて、600以上のコースやセミナーを(中には100近くの言語を介して)提供しています。現在何万といった人々がUofNの国際システムに学生として登録されています。全ての学生はまずDTS(弟子訓練学校)を受けます。DTSは、UofNの入門コースであり、そこ

で学ぶための前提条件となる必須プログラムであると同時に、YWAMスタッフになるための条件でもあります。

聖書の貧困を終わらせ、全母語に聖書を口頭で訳する



1960年代から、ローレンは世界中の他のリーダーたちと共に、地球上のすべての人に聖書が与えられ、いわゆる「聖書の貧困」が終わることへの重荷を担ってきました。御言葉が行くところにはどこにでも、神の霊が変革をもたらすからです！ローレンは福音派、聖霊派、またペンテコステ派の教団の影響のあるリーダーたち、またその他の教会のリーダーたちと会い、このことのために共に働くことを呼びかけてきました。

ローレンのこの情熱は晩年に、世界に8000以上存在する母語に口頭で聖書を訳するということにフォーカスされました (PrayOMT.com)。母語とは、その人の心にまっすぐ届くものであるため、このビジョンはとても重要です。目標は、イエスが祈った通り、神の御心が「天におけるように地の上にも」行われるようになることです (マタイ6:10)。天においては何が行われているのでしょうか？黙示録7章9節によれば、「あらゆる国民、種族、民族、言葉の違う民の中から集まった、だれにも数えきれないほどの大群衆」がいるのです。

最後の日々を過ごす中で、神様はローレンに力を与え、彼は癌におかされた体でありながらも、ズームを介して全大陸にいる何万という人々にこのビジョンについて語りました。彼は私たちに、イエスに「完全に」献身した生き方を示したのと同じように、神様が私たち一人一人の前に置かれた競争をいかに最後まで誠実に走りぬくかの模範を示してくれました。これらの日々は、次の次の世代にわたるまで夢を語り継ぎ、彼らのために祈り、彼らはそれに対して「はい、この召しを受け入れ実行します」と心をこめて応答したとても貴重な期間でした。YOUTH With A Mission (そう、ユースです！)、ユニバーシティ・オブ・ザ・ネイ

シヨンス、そしてYWAM船の働きの未来は、信頼できる人々の手に託されています。
YWAMのリーダーやボランティアの大多数が若者です。彼らはみな自信に満ち、多くの能力を持ち、次の60年において神様がYWAMのためにご計画されている偉大な未来に向けて献身しています。

ローレンの略歴 (LorenCunningham.com)

米国カリフォルニア州のタフトという町で、キリスト教の働きに献身した人が何世代も続いている恵まれた家系の中に生まれました。1963年に、同じくキリスト教の働きを背景に持つ家系に生まれたダーリーン・スクラッチと結婚。それ以来夫婦で協力し合いYWAMの働きをリードしました。ローレンが使徒的なビジョンの持ち主であり、ダーリーンが人材やチームを育成してそれを実践したのです。

ローレンの学歴は、三つの学士号、教育行政学の修士号、そして三つの名誉博士号です。彼は六冊の著作を残しました：「神様、私に語ってくださいー神の御声に聞き従ったある若者の物語」（この本は140カ国語以上に訳されています）、Making Jesus Lord、Daring to Live on the Edge、Why Not Women?、The Book that Transforms Nations - the Power of the Bible to Change Any Country、We Can End Bible Poverty Now、No Boundariesです。

ローレンの最愛の妻であるダーリーン・ジョイ・スクラッチカニンガムは健在です。他にも彼の長女カレン・ジョイ・カニンガム、長男デイビッド・ローレン・カニンガム（ジュディス・フィツカニンガム）、そしてマディソン・グレイス、ケンナ・フェイス、リアム・リードという三人の孫がいます。



-ダーリーン・カニンガム国際アシスタント、ドーン・ゴスリン著。写真提供: スザンヌ・チルダースとドーン・ゴスリン
